



2017年4月11日

内閣総理大臣 安倍晋三 様

日本YWCA

会長 藤谷佐斗子
総幹事 尾崎裕美子

米国のトランプ政権によるシリアへのミサイル攻撃と それを支持した安倍政権への抗議声明

去る4月7日の米国のトランプ大統領命令によるシリアに向けたミサイル攻撃によって、中東における軍事緊張状態が高まっています。これに対して安倍首相は「国際秩序の維持と同盟国と平和と安全に対するトランプ米大統領の強いコミットメントを日本は高く評価します」との強い支持を表明しました。

日本YWCAは、武力行使により問題解決を図ろうとする米国政府およびそれを支持する日本政府に対し、強く抗議します。

日本YWCAは、どのような理屈をもってしても、武力行使による平和構築はありえないと考えます。武力による制圧は、平和をつくりだすものではなく暴力の連鎖を生み出すのみであることは歴史が証明しています。

今、日本の取るべき役割は、暴力による支配を支持するのではなく、トランプ政権へ、対話による問題解決にあたる大切さを説くことではないでしょうか。それこそが、平和憲法を持つ日本の役割であると確信します。

日本YWCAは、アジア太平洋戦争の歯止めになりえなかったことの深い反省のもとに、戦後一貫して平和を追い求める団体として歩んできました。特に女性の視点から、命の尊厳を守り、非暴力に徹する姿勢を貫き、女性や子どもたちが安全で安心できる平和な社会を目指して活動を続けてきました。これ以上、シリアの人々、特に未来のある子どもたちの命を奪うことはあってはなりません。

これまでの歴史に学び、「武力で平和はつukれない」ことをあらためて強調するとともに、日本YWCAは、シリアへのミサイル攻撃を行った米国政府およびそれを支持した日本政府に対し、強く抗議します。

公益財団法人日本YWCA 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室

TEL: 03-3292-6121 FAX:03-3292-6122 office-japan@ywca.or.jp